

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立四十万小学校] 担当教諭名[瀬川 由佳] (6年1組 82名)

交流相手国[イスラエル]

海外学校名[Ahmad Sameh School] 担当教諭名[Ahmad Abu Sway]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際交流～伝えよう！金沢の魅力～	70
	英語	Welcome to Kanazawa	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	金沢とイスラエルの町の良さを伝え合おう
絵に込めたメッセージ	北陸新幹線が開通した喜びと、実際に金沢めぐりをして、再発見した金沢の町の良いところの中から、金沢城と兼六園のこけし灯籠を描いた。地球の周りを、手をつないで一周させることで、友好関係を深めたいという思いを表現している。
 	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・アンケート結果から、児童は楽しく交流できたことが伺える。金沢の良さを再認識する良い機会にもなり、金沢への愛着と誇りをもつことにもつながった。	・前半は、一方的な交流になってしまった。その後も、スカイプを経験できたわけではないため、親しみをあまり高めることができなかった。この結果は、相手国にとっても同じだと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
交流相手国がイスラエルと知った時は、テレビを通しての情報により、内戦が起こっている国であることや、治安の悪さを心配する児童も多かった。マイナスイメージからのスタートだったが、交流を進める内に、相手国のことをもっと知りたい、友好関係を深めたいという思いが強くなっていった。	正直なところ、自分自身も児童と同様にマイナスイメージからのスタートだった。しかし、交流をしていく中で、児童と共に、友好関係を深めたいという思いが強くなっていった。また、相手国の情勢を知ること、平和を祈っている自分自身だったことを痛感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月 ～ 11月	・自己紹介カードを作成し、郵送。 ・クラス紹介ビデオの作成し、フォーラムにアップ。	友好関係を深めたいという思いもっていたが、相手の顔が見えないところに、本当に交流できているのか不安に思っていたようだ。	総合5
テーマ学習	4月 ～ 11月	・金沢調べ。 ・イスラエルの文化調べ。 ・金沢めぐり。 ・「金沢の魅力丸わかりブック」作成。 ・「金沢の魅力」紹介カード作成し、フォーラムにアップ。 ・学習発表会で「金沢の魅力」発信。	相手国の文化を調べる際、子ども達の生活に関わることを調べるようにしたことで、自分達の生活と比べながら、共通点や相違点を見つけ、交流への意欲喚起につながった。実際に金沢めぐりをしたことで、実感を伴った魅力となり、自信をもって発信していた。	総合55 英語2
構図決定	11月 12月	共同壁画制作に向け、実行委員が案を学級全体に募集し、2つに絞り込んだ。下書きをフォーラムにアップして提案し、最終決定を相手国に委ねた。	全員がアイディア画を描いて参加できた。それを集約し、実行委員が大変意欲的に下書きを描いていた。	総合3
壁画制作	12月	・実行委員が下絵を描き、配色を考え、色塗りの指示。 ・2つのグループに分かれ、交代制で全員で色塗り。	よりよいものに仕上げたいと、全員が意欲的に制作にかかわっていた。満足のいく仕上がりになり、大変喜んでいた。	総合5
鑑賞・振り返り	3月	・作品とともに記念撮影。 ・卒業式の飾り付けの1つとして、職員室前に展示。	絵に込められたメッセージを想像する時間を大切にしたい。一人一人が率直な感想を伝えることができた。	総合2

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	「金沢の魅力」について積極的に調べ、発信する姿から、金沢への愛着と誇りを深められたと感じた。
異文化の理解	A	3	子ども達の生活に関わることを調べることで、特に食事に関する規則が違うことに驚き、興味をもっていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	相手に伝えたいと、英文で表現しようとしたが、英語のインストラクターの先生に教えてもらったものを写すことが多かった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	相手国については、国の情勢上、ネットでの情報は、児童にとって刺激が強すぎた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	学級内は、壁画作成だけにかかわらず、良好な人間関係は築いてきた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	適材適所で分担し、上手く声かけしながら、効率的かつ主体的に色塗りに取り組んでいた。
学習を追究する意欲	C	2	より深く知ろうという思いがあっても、一方的な交流が多かったので、難しかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	地球の周りを、自分達が手をつないで囲むデザインには、友好の意味が込められていた。
作品を鑑賞する力	A	5	絵に込められたメッセージを一生懸命に想像し、受け止めようとしていた。